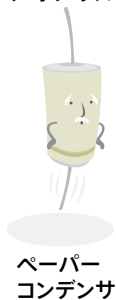


コンデンサの仲間たち

コンデンサは、抵抗、インダクタ(コイル)とともに、三大受動電子部品と呼ばれ、さまざまなタイプが開発されてきた。外観からはリード付タイプとリードのないSMD(表面実装部品)タイプに大別される。積層セラミックチップコンデンサは、電子機器の小型化に大きく貢献し、現在のコンデンサの主流となっている。

リード付タイプ

■ アキシャルリード



■ ラジアルリード



かたちは、円筒形、円板形、角板形、チップタイプなど、さまざま。



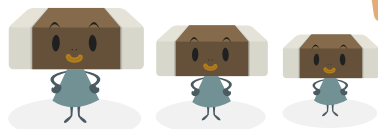
マイカコンデンサは雲母(マイカ)の薄片と電極板を重ねた構造。ペーパーコンデンサは絶縁紙と金属箔をロール状に巻いた構造となっている。

SMD(表面実装部品)タイプ

■ SMDタイプの電解コンデンサ



■ 積層セラミックチップコンデンサ



現在、世界で使用されるコンデンサの80%は僕たちだ。

リード(足)がないので、コンパクトで省スペース。

